





英語を用いたコミュニケーションを通じて議論を行うことで英語力のみならずコミュニケーション能力もアップ！

システム理工学部 機械制御システム学科 4年
竹崎 奨悟さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：タイ・KMUTT

海外の方と英語でコミュニケーションをとって仕事を行うことが社会で当たり前になりつつある今日では、単純にTOEIC等の点数が高いだけでは不十分に感じます。手段である英語を用いていかに意思疎通を行うかが重要であると考えたため今回PBLに参加させていただきました。また、こういったPBLは大学からの奨学金も出る上に、タイは日本と比べて物価が安いため比較的低予算で参加できることも、今回参加した理由の一つです。

今回のPBLは、9時から17時頃まで大学で現地の学生とチームを組み各々が見つけた課題について議論し、解決策を提案するという内容でした。内容も簡単なものではない上に、お互いが、英語が母国語でないために思うように意志疎通ができず大変な思いもしましたが、ゆっくり時間をかけて話すことでお互いの考えていることを理解し、プロジェクトを進めていくことができました。大学での活動が終わった後は、現地の学生に市内を案内してもらったり、一緒にご飯を食べたりして、短い観光のようなこともできました。学生によっては、観光客があまり行かないローカルな店や場所に連れて行ってくれたので、個人の旅行では行けないようなところに行けるという点ではこのPBLはお得だと思います。

今回のPBLでは、文化や考え方が異なる人たちと一緒に議論をし、課題解決を図るという経験を経て、多様性への考え方が参加前と比べて変化したような気がします。また、現地の友達もたくさんできたため、次回タイへ旅行に行った時には友達にまた案内してもらおうと思っています。



合計8回のグローバルPBL参加を通して
英語力もちろんですが
コミュニケーション力もアップしました！

システム理工学専攻 1年 望月 海里さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：タイ・KMUTT

率先して人の前に立ちたいと強く思っているものの、緊張していつも勇気を出すことができない自分を変えたいという思いがグローバルPBL参加のきっかけでした。そこで私はコミュニケーション力と社会性を養うため、親しい友人や知り合いには頼らず、自分の力で新たなコミュニティを構築できる環境としてグローバルPBLが最適だと思いました。

プログラムでは多国籍学生とチームを組み、自分たちで様々な社会問題について話し合い、その中からプログラム中に取り組むテーマを決めます。基本的に日曜以外の9:00AMから4:00PMまでディスカッションなどをして活動します。最初にグローバルPBLに参加したとき、私はほとんど英語も話せず、ディスカッションの内容にもまったく追いつけませんでした。しかし、それでも優しく理解するまで接してくれる海外の方々に励まされ、諦めずに会話の輪に入り、相手の魅力的な話術や振舞いを見習い、自分に取り入れていくことが自分の成長につながると考え、これまで参加できる身近なグローバルPBLすべてに参加してきました。その結果、今ではチームのリーダーを務めることができるようになったと共に、海外経験を通してコミュニケーション力や異文化理解度、協調性もぐーんと向上したように感じています！

「英語は実践が最も身につく」とよくいわれています。グローバルPBLは語学研修より短期間ですが、授業を受けるのではなく全日程を英語でディスカッションして過ごすので、英語の授業を受けるよりも格段に英語力が向上しやすいと思います。グローバルPBLに参加し、海外の方々と深く関わってきたこの3年間で、私自身が良い方向に大きく成長したと実感しています。もちろん楽しいことばかりではなく大変なときもあります。でも、どんどん自分が成長していく達成感から、一度参加してみるとどっぷりハマっちゃうと思いますよ！（笑）



英語に自信がなくても大丈夫です！
やる気と楽しむ気持ちがあれば一生記憶に残るような素晴らしい経験ができます！！

システム理工学部 機械制御システム学科 4年
鈴木隆介さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

私はGPBLがきっかけでTOEICの点数が260点アップしました。

私が初めて参加したGPBLは、大学3年生の冬に芝浦工業大学大宮キャンパスで行われた大宮gpblでした。当時私のTOEICの点数は365点ととても英語を話せるようなレベルではありませんでした。しかし、gpblの期間でつたないながらも英語を話す楽しさ、英語が向上しているという実感、そして何よりも海外の学生とコミュニケーションをとることの楽しさを感じました。それ以降私は英語の勉強やgpblの参加を積極的に行い、現在はTOEICの点数を625点まで上げることができ、国際寮のRAやGLCスタッフなど今までの自分では考えられないほど英語が身近な生活を送っています。GPBLの参加は少しハードルの高いもののように感じてしまうかもしれませんが、ぜひ一度参加してみるととてもいい経験になると思います。

前置きが長くなってしまいましたが、今回参加したgpblのことについて説明すると、基本的には毎日9時から16時ごろまでテーマに沿ってグループワークを行います。英語を使って話し合いやプロトタイプ、プレゼンの作成などが主な活動内容です。話し合いではGoogle翻訳などの利用も可能なため、英語がわからなくて作業が進まないといった心配も必要ありません。また、作業が終わる16時以降はタイの学生たちと遊びにくこともできます。大学の周辺のカフェへ行ったり、電車やバスに乗ってバンコクの中心地へ行って買い物なども可能です。タイは食べ物などの物価が安いやめ、日本で食べると1000円ほどするようなタイ料理も半額以下で食べることができます。ちなみに私は150円ほどで購入できるタピオカを毎日飲んでいました(笑)

gpblは短期間のプログラムではありますが非常に密度の濃い内容となっており、英語力の向上だけでなく、現地の友達ができたり、その土地の文化を知ることができるなどといったたくさんの学びを経験できます。気になった方はぜひ参加してみることをおすすめします。



2年前の自分と比べて、
成長を実感できたプログラムでした！

理工学研究科 システム理工学専攻 1年
小池 亮太 さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

このプログラムは、10日間ほどで、タイや世界の課題を解決するプロジェクトを創出するものです。私は2年目の学部3年生の年にこのプログラムに参加しました。当時は初めての海外で、初めての海外でのPBLだったので右も左もわからず、取り組んでいました。先輩方に助けられながら、プロジェクトの進め方、海外の学生とのコミュニケーションの取り方など多くのものを学ぶことができました。今回のプログラムは、そんな前回の自分に対して、2年経った自分がどれほど成長できたのかを確かめるために、参加したのが大きな理由です。

今回実際参加してみて、私は自分自身に大きな成長を実感しました。プロジェクト自体も自らの様々な経験を踏まえて、リーダーとして、チームを積極的に導くことができました。また、2年前に参加した時の現地の友人と会い、ご飯を一緒に食べたり、現地を案内してもらったり、プロジェクト以外の部分でもこのプログラムをととても楽しむことができました。そして、今回のプログラムに参加して得られたこと、自分の課題になったことも様々ありました。特に、私の力のなさを感じたのは提案するアイデアの斬新性のなさです。私は、これまで多くのプログラムに参加してきましたが、その経験からこの課題ならこれで解決できるというもの大体わかるようになっていました。しかし、それでは世の中で今考えられているものに何かを足すだけであって、世界を変えるような斬新な提案ではありません。今後は、自身の経験を最大限に生かしつつ、世界にないものを提案できるような人間になりたいと思います。

また、話は変わりますが、これらのプログラムはみなさんの就職活動にも大きく役立つと思います。このような経験をする人間は少ないと思うので、活用方法によっては大きな武器になると思いますし、私自身にも大きく役立ちました。海外経験のあまりない方から力のある方まで様々ないると思いますが、このプログラムではその部分も考えてチームを分けてくれますし、どのような人間でも楽しめるようなプログラムだと思います。